

事業報告 つながる大殿七タちょうちん：伝統文化の保存継承事業

2019 重点をおいた取組み

- * 次世代（子どもたち）への地域歴史学習の実践と工夫
- * 地域全体で大殿の灯を支え、「継続」を視野に入れたシンプルな運営と企画

見直しポイント（10年経って）

- 新 町内会重視へシフト
- 新 事業名の変更

《 事業の流れ 》

- 資材の調達：地域内の竹林から伐採（6月）参加 13名
 実行委員会立ち上げ（6月）3隊に分かれ協議・運営
- ちょうちんで「飾り隊」
 - 催して「楽しませ隊」
 - 総務で「見守り隊」

- 7月28日（日）子ども歴史学習会 参加 57名
 共催：わくわくチャレンジ教室大殿
 10：00～ 「人形劇と大内ボードゲーム体験など」
- 8月 5日（月）資材配布（ちょうちん配布は雨天中止）
- 8月 6日（火）縁日・和楽コンサート 参加 105名
 17：30～ ふるさと伝承総合センター集合
 縁日・和楽コンサート会場設営
- 18：15～ なごめ祭り参列
 19：00～ 縁日・和楽コンサート開始
 20：30～ 会場撤収
- 8月 7日（水）資材運搬・整理事業 参加 32名
 17：00～ 竹運搬、資材整理事業

6月15日竹の準備



7月28日子ども歴史学習会



人形劇で、ぼろんちゃんと600年前にタイムスリップ！山口七タちょうちんは、「いつ始まったの？」「だれが始めたの？」を学びました。

今年のちょうちん予定数：約 3,500 個
 （19町内 145 基、八坂神社8基、山車）
台風接近のため、ちょうちんは中止

野田学園箏曲部の皆さん



8月6日
 縁日と和楽コンサート

八坂会場では、ちょうちんの数を減らし、新たにLED（光の回廊）を設置することで、会場のスタッフ数を減らし、所属する町内での火入れに参加できる体制を作ろうという狙いをもって見直しを進めてきました。

残念ながら台風の影響でちょうちんは中止し、伝承センター会場で縁日と和楽コンサートのみ実施となりました。

開始時刻には雨も小止みになり、火入れのお手

伝いを予定していた子どもたち、出演者の皆さん、スタッフの皆さん、お互いに楽しい交流の時間が持てました。

ご協力いただいた関係者の皆さん、各町内の皆さん、本当に、ありがとうございました。

地縁の輪の復活や拡がり、体験を通して伝統文化を次世代につなぐことをめざして、今後も工夫をしていきたいと思ひます。

児童合唱団山口の皆さん



スーパーボールすくい
 パンチボックス

祇園囃子保存会の皆さん

